

マップと写真で見る  
**西区**



◀ 西区のシンボルマーク  
中心に太田川放水路を表し、その両側の町  
で形成される西区の地形とWEST(西)の頭文  
字のWを圖案化したものです

**マップと写真で見る西区**

編集・発行  
広島市西区役所地域起こし推進課 令和5年(2023年)3月  
〒733-8530 広島市西区福島町二丁目2番1号  
☎082-532-0927 FAX 082-232-9783

# まるっと西区 見る・食べる・集う

広島市西区は、東を天満川、西を八幡川に挟まれた区域で、面積は35.66km<sup>2</sup>、人口は約18万7千人です。(令和5年1月現在)

中央部を太田川放水路が流れ、宗箇山から鈴ヶ峰周辺に連なる山々に囲まれ、自然環境に恵まれています。かつての西国街道沿いの街並みや三瀧寺など歴史・文化資源も豊かな地域です。

また、横川・己斐地区などの交通結節点、井口・商工センター地区の流通業務団地や大規模商業施設など多様な都市機能が集積しています。人が集うスポット、西区が誇る「食」、伝統芸能などを紹介します。



▲JR西広島駅北口では「ズッコケ三人組」の像が出迎えます



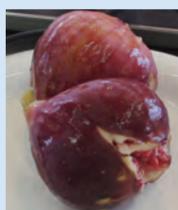
▲「KOI PLACE」は、小さな子どもから大人までが楽しめる街のオアシスです。マルシェやナイトシアター、神楽、コンサートなども開催されます



▲大芝公園交通ランドでは、信号機や踏切のあるコースで、ゴーカートに乗って楽しく交通ルールを学ぶことができます



▲商工センターにある大型商業施設「アルパーク」では、地域の人々が参加するイベントが開催されます



▲古江いちじく



▲古江神楽



▲JR新井口駅から、アルパークと広島サンプラザへ続くペDESTリアンデッキには、花をあしらったスポーツ選手たちの大きなパネルが掲示されています



▲井口神楽



▲観音ねぎ



▲広島サンプラザはプロバスケットボールチーム「広島ドラゴンフライズ」のホームアリーナです。スポーツイベントやコンサートも開催されます



▲井口ワカメ



▲マリナーズの拠点「観音マリナーズ」には、ハンザクラス(誰でも乗れるように考案された小さなヨット)の基地もあります



▲横川の「大雁木」ではSUPを楽しめます



# さいこくかいどう 歩いてみよう！西国街道

江戸時代に京都と下関を結ぶ西日本の幹線道であった山陽道のうち、広島藩内の街道が「西国街道」と呼ばれていました。

西区を東西に貫く西国街道は約8.5km。己斐、古江、草津、井口地区では、地域の皆さんが、歴史を学び、マップを作成し、まちあるきガイドをしています。

西国街道の名残りをたどりながら、一緒に歩いてみませんか。



▲龍神山 龍神山山道入口から約100mは江戸時代の西国街道がほぼ昔のままの姿で残っています。山頂は望月山と称され、月見の名所でもありました



▲小泉本店 江戸時代の天保年間(1829年～1847年)に創業された造り酒屋。今も厳島神社のお神酒をはじめ清酒(日本酒)を造っています。屋根の上の「煙出し」など特徴的な造りの母屋から昔の街道の面影が見えます



▲旧井口港の雁木 井口は昔、海に面しており、江戸時代の村民の半分は農業、半分は漁業が水上交通に関わっていました。雁木はその名残りです



▲住吉神社 海上安全の守り神として崇拝されました



- 凡例
- 西国街道
  - 主な道路
  - JR
  - 広島電鉄



▲浄教寺の臥竜松は広島市指定保存樹です



▲鏝絵 民家の土蔵やお寺の経蔵に左官鏝で描かれた漆喰芸術が「鏝絵」です。獅子、龍などが描かれています



▲地蔵尊 草津は歴史に残る大火が5回もあり、地蔵尊は火災を無くすために祀られたといえます



▲旭山神社 厳島合戦の時、毛利元就が山上から朝日(旭)が昇るのを拝んだことからこの名前がついたといわれています



▲旭山神社



▲源左衛門橋



▲別れの茶屋



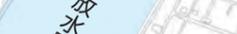
▲源左衛門橋



▲源左衛門橋



▲源左衛門橋



▲源左衛門橋



▲源左衛門橋



▲源左衛門橋



▲源左衛門橋



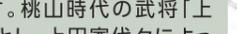
▲源左衛門橋



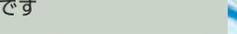
▲源左衛門橋



▲源左衛門橋



▲源左衛門橋



▲源左衛門橋



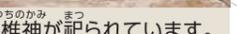
▲源左衛門橋



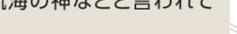
▲源左衛門橋



▲源左衛門橋



▲源左衛門橋

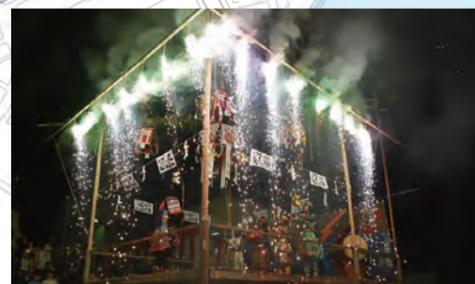


▲源左衛門橋

西区の神楽は12の演目で構成される、おっとりした舞が特徴の「十二神祇神楽」です。井口と古江で継承されており、子どもたちが舞います。幕間に繰り広げられる吹き火(花火)も人々を魅了します



▲井口神楽 天明5年(1785年)井口村(現在の西区井口地区)で、疫病や飢饉が続き大きな被害を受けました。村人は、大蔵神社に疫病払いや五穀豊穡を祈願して神楽を奉納したと伝えられています



▲古江神楽 古江に神楽が伝わったのは、江戸時代ではないかといわれています。昭和20年(1945年)から昭和60年(1985年)ごろまでは、口上を伝える台本はなく、古老の話を聞き取りながら練習をしていました。昭和62年(1987年)、長老が土井忠生広島大学名誉教授に、口上を書いたものを渡していたのを基に、土井教授が精査して現在の台本ができました



▲茶道上田宗箇流 地方都市では数少ない茶道の家元が西国街道沿いの古江東町にあります。桃山時代の武将「上田宗箇」を流祖とし、上田家代々によって400年以上、広島の地に受け継がれてきた武家茶道です



▲塩釜神社 塩椎神が祀られています。「塩」は「潮」のことで、潮流をつかさどる神、海路の神、航海の神などといわれています



▲瀬切石 己斐村と古江村の境界を示すもの。現在は小さな祠があります



▲延命地蔵 長生きをかなえてくれる地蔵菩薩です。旅人が安全を願いました



■地域ごとにより詳しい散策マップが作成されています。必要な方は、お近くの公民館、または西区地域起こ推進課へお問い合わせください

参考:引用 己斐の歴史めぐり(平成31年3月改訂) ございで古田の歴史めぐり(令和4年9月改訂第3版) 草津まち歴史の散歩道(平成28年3月第3版) 西国街道のくち歴史の散歩道(令和2年3月改訂) マップで見る魅力いっぱいのまち西区(平成29年3月) 歩いてみようさい発見。(4刷:平成27年1月)

◀西国街道デザインマンホール 広島市下水道局は、「西国街道」をアピールしようと、江戸時代の街道沿いの様子をイメージし、仏壇作りの職人や紙商人、米俵を運ぶ船頭の姿を浮世絵風にデザインした直径62cmのマンホールのふたに順次、取り替えています



▲源左衛門橋 江戸時代の初めの頃、ある大名が通りかかると八幡川が出水して川を渡れず困っていました。近所の柴竹源左衛門が板を持ってきて渡してやったことから、この名前が付けました

# 西区の山に登ってみよう!

西区の山は、登山口まで公共交通機関が利用できること、登山ルートを組み合わせれば、初心者から健脚者まで四季を通じて気軽に楽しむことが魅力です。

西区では、年4回程度、参加者を募ってハイキングを行っています。

さあ、西区の山に登ってみましょう!



▲己斐峠の天空の階段



▲宗筒山山頂で記念写真



▲高峠山からの眺望



▲竹林を進む



▲鬼ヶ城山山頂からの眺望



▲大茶臼山・展望台からの眺望



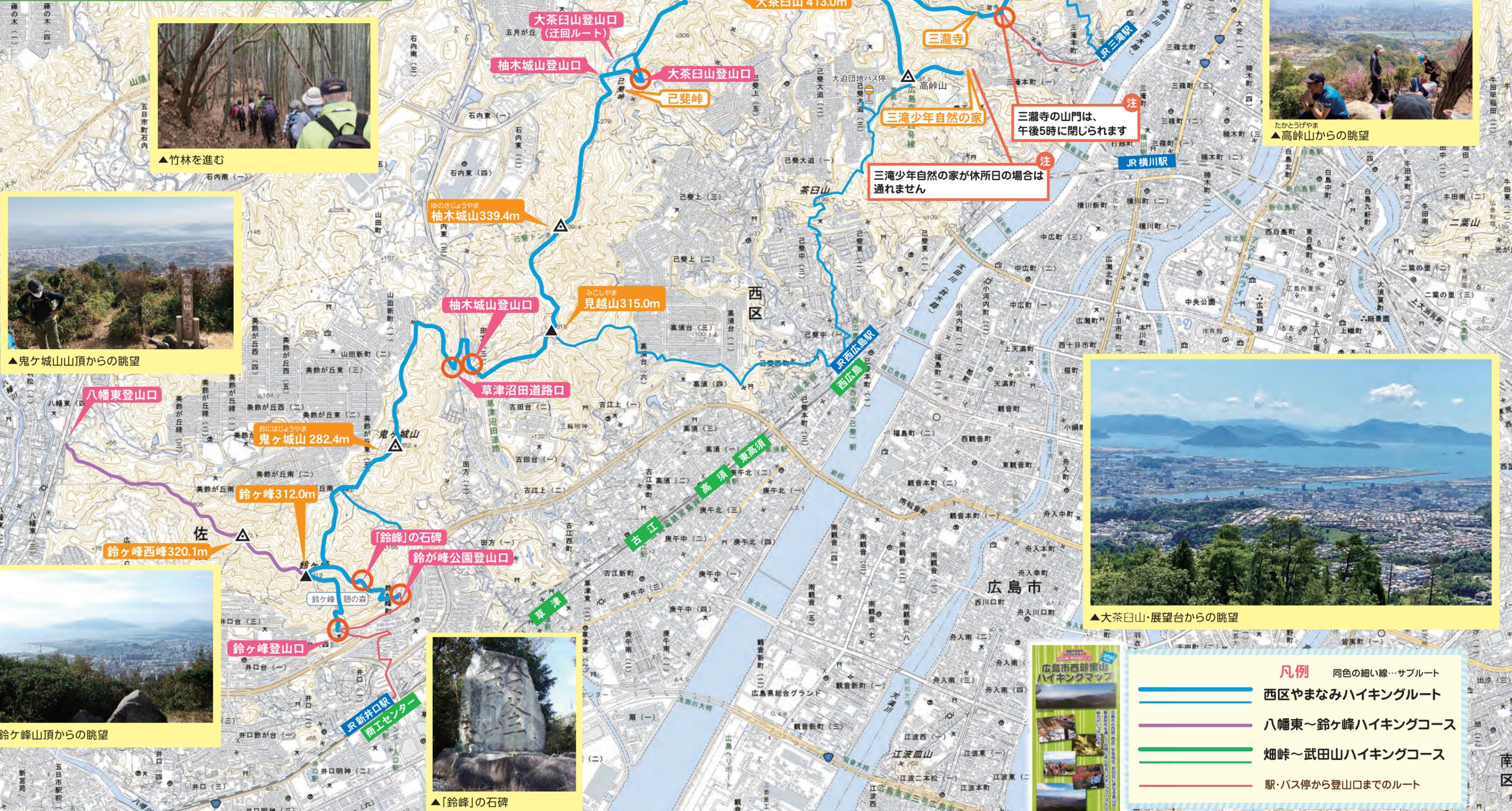
▲鈴ヶ峰山頂からの眺望



▲「鈴峰」の石碑

出典:国土地理院発行2.5万分1地形図

0 1km



- 凡例** 同色の細い線…サブルート
- 西区やまなみハイキングルート
  - 八幡東～鈴ヶ峰ハイキングコース
  - 畑峠～武田山ハイキングコース
  - 駅・バス停から登山口までのルート



◀ 広島市西部里山ハイキングマップ2021年度版より抜粋  
 ハイキングマップが必要な方は、西区地域起こし推進課へお問い合わせください